

(臨床研究に関する公開情報)

埼玉病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究で検体や情報を利用することを希望しない場合は、研究対象から除外いたしますので、末尾の【問い合わせ先】へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

【研究課題名】

腎機能障害を有するびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫患者における化学療法による腎機能推移の実態調査

【研究責任者】薬剤部 薬剤師 河野 光

【研究の背景】

腫瘍崩壊症候群(TLS)はがん細胞が急速に死滅することにより発現する重篤な代謝異常であり、時に生命維持に影響を及ぼします。びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫患者(DLBCL)は代表的な悪性リンパ腫であり、初回化学療法施行時には TLS のリスクに応じて化学療法前後で TLS の予防を行っています。DLBCL 患者の中には治療開始前から腎機能が低下している方が一定数存在しており、化学療法や支持療法開始後の腎機能推移をまとめたデータは少ないのが現状です。

【研究の目的】

抗がん剤治療により腎機能がどのように推移したかの実態調査を行い、DLBCL が腎機能に及ぼす影響について調査を行うことを目的としています。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2021 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日の間に腎臓の機能が悪い方の中で DLBCL と診断され、当院にて抗がん剤による治療や補液・尿酸降下薬による治療を受けた方

●研究期間：承認日から 2027 年 3 月 31 日まで

●利用する試料・情報

カルテ情報：

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(LDH 値、尿酸値、カリウム値、リン値、カルシウム値、クレアチニン値等)等

【研究組織】

この研究は、当院のみで実施されます。

【情報の管理】

この研究に関わって収集される情報は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。

○対応表を作成する場合

収集した情報は、解析する前に氏名・生年月日等の研究に不要な情報を削除し、代わりに研究用の識別符号をつけ、どなたのものか分からないようにします（このことを仮名化といいます）。仮名化した試料・情報と識別符号と被験者の対応表は、研究責任者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。

研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も氏名などの個人情報が明らかにならないようにした上で公表します。

【問い合わせ先】

国立病院機構埼玉病院

薬剤部 薬剤師 河野 光

電話 048-462-1101